

佐賀市立小中一貫校富士校中学部 学校だより

ふじ中通信

富士中学校ホームページ QR コード→

【第5号】

令和7年10月14日発行 文責 校長 小野



佐賀市立小中一貫校富士校

学校教育目標

地域を担う夢に向かって伸びゆく
富士っ子の育成

生徒会テーマ

愉快適悦

～当たり前を当たり前にし、
全員が楽しく誇らしく過ごせる学校～



(・▽・)ｲｲﾅ!! 富士っこ 古湯映画祭 ボランティア活動、富士中 PR 活動

9/20～9/21 に開催された古湯映画祭では、生徒がスタッフとして運営に携わり、チケット係、会場係、誘導係などを務めました。また、「富士中オリジナルうちわ」や「富士中オリジナルクリアファイル」を来場者に配布してコミュニケーションをとったり、富士中を PR したりと生徒が「発信する」活動に力を入れて取り組みました。



↓後日、生徒会本部が来場者アンケート結果を報告

古湯映画祭
9月20日(土)
21日(日)

ボランティアの参加
ありがとうございました。



来場者にQRコード
を読み取ってもらい
アンケートに
答えていただき
ました。

【生徒のつぶやき】

・うちわ、ファイルを配る時は、自分から来場者に声をかけた。勇気が必要だった。でも1回できたら、2回目からはどんどん積極的になれた。

・「ありがとう」「Tシャツかわいいね」など、来場者にお声かけいただき、とてもうれしく、やる気が出た。

・いろいろな人とのふれあいが楽しいと感じた。

来場者へのアンケート結果

富士町の魅力は？

温泉 …19人
自然 …15人
食べ物…3人
その他…人が温かい

来場者へのアンケート結果

中学生ボランティアの良かったところ

礼儀正しさ…18人
あいさつ …13人
笑顔 …9人
元気の良さ…4人
声の大きさ…3人

「ら・かんぱねら」の鈴木一美監督にインタビューをさせていただきました。インタビューアは森永さん（2年）、東川さん（1年）です。



鈴木一美監督のインタビューの様子

Q:好きな食べ物

A:かつ丼

Q:中学生の頃の夢

A:なかった

Q:好きな映画

A:山田洋次監督の「学校」

Q:映画監督をはじめたきっかけ

A:40年間プロデューサーを務めた。映画の企画やお金集めの仕事を中心。「ら・かんぱねら」は、「家族愛」が描かれており、子どもでも観ることができる映画であり、自分が監督として制作したいと強く思った。

Q:映画づくりにどんなやりがいがあるか

A:作者の気持ちや登場人物の思いを知ることができるのが映画の魅力の一つ。この映画祭で、お客さんが最後まで観て、感動し拍手を送ってくれた。監督になって、今日が一番良かったし、映画づくりへのやりがいを実感している。

Q:将来、地域を盛り上げるために映画や文化活動に関わりたいと思う中学生にアドバイス

A:自分の物語をつくれ!!

想像力や創造力がないと、何事も楽しくない。

楽しい思い出が未来への力になる。



「ら・かんぱねら」の出演者 緒形 敦さんと交流

(・▽・)イネ!! 富士町 10月5日(日) 富士町民体育祭

町のみなさんの熱い思いで、数年ぶりに町民体育祭が復活。順位を競うのではなく、参加者が一緒に楽しく過ごすことを目標に開催されており、参加者の笑顔がたくさんあって、みんなで楽しく競技に取り組む姿がとても素晴らしく、富士町っていいな！と感じるイベントでした。中学生も選手として、ボランティアとして参加して頑張りました。



お越してください! 10月31日(金) 富士中文化発表会 (場所:富士中体育館)

午前中に開催します。少年の主張、英語や音楽の発表、演劇、展示などを予定しています。演劇では、佐賀七賢人の演劇で活躍されている青柳達也さんを講師にお迎えして、本格的な演技指導をしていただいています。富士小5年生のステージ発表も予定されています。時間などの詳細は、今週末くらいまでにホームページにアップいたしますので、ご確認ください。